

事務事業名	戦没者遺族高齢者慰問事業				担当	健康福祉部 社会福祉課 社会福祉係			
政策名	C	思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり				増補版施策名			
施策名	5	高齢者の自立と社会参加の支援				☐ 実施計画上の主要事業			
関連個別計画						事業期間	☐ 単年度のみ		
法令根拠							☒ 単年度繰返（開始年度 年度～）		
予算科目							☐ 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
	1. 一般会計	3. 民生費	1. 社会福祉費	1. 社会福祉秘書費					
事業概要	79歳以上の戦没者の妻及び父母に高齢者慰問金 年額30000円を支給し、労をねぎらう。 開始年度は、資料等がなく不明である。								

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 31年度実績 民生児童委員を通じて、慰問金を支給してもらう 32年度計画 前年度と同様	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	32年度(見込)
	ア 慰問金支給者数	人	6	5	4	4	2
	イ						
	ウ						
	エ						
②対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等 市内在住の79歳以上の戦没者の妻及び父母	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	32年度(見込)
	ア 79歳以上の戦没者の妻及び父母の数	人	6	5	4	4	2
	イ						
	ウ						
	エ						
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 戦没者の妻及び父母に対して慰問する。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	32年度(見込)
	ア 支給者数 / 79歳以上の戦没者の妻及び父母の数	%	100	100	100	100	100
	イ						
	ウ						
	エ						
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 遺族の慰問	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	32年度(見込)
	ア 支給によりねぎらわれた者の割合	%	100	100	100	100	100
	イ						
	ウ						
	エ						

(2) 総事業費の推移				単位	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(実績)	32 年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	18	15	12	12	6
			事業費計 (A)	千円	18	15	12	12	6
	人件費		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
			延べ業務時間	時間	3	3	3	3	3
			人件費計 (B)	千円	12	12	13	12	12
			トータルコスト(A)+(B)	千円	30	27	25	24	18

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか。	79歳以上の、戦没者の妻及び父母への慰問のために開始。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	該当者の高齢化により、減少傾向にある。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	